

人吉市農業委員会の委員の推薦及び応募の状況(最終公表)

【応募の状況】 4名

受付番号	氏名	年齢	職業	性別	経歴		農業経営の状況	認定農業者等の認定	農地利用最適化推進委員への推薦及び応募状況(有無)	応募理由
					年月日	学歴・職歴など				
1	中嶽 修平	44	弁護士	男	平成12年3月 平成16年3月 平成16年4月 平成20年3月 平成23年3月 平成24年9月 平成25年12月 平成27年12月 平成28年3月 平成29年7月～現在	熊本県立人吉高等学校 卒業 熊本大学法学部 卒業 人吉市役所 入庁 人吉市役所 退職 大阪大学大学院高等司法研究科 卒業 司法試験合格(第66期司法修習) 弁護士法人あさかぜ基金法律事務所 入所 弁護士法人あさかぜ基金法律事務所 退職 ひとよし法律事務所 開業 人吉市農業委員会 農業委員	無	非該当	無	1 私は、平成29年7月から人吉市農業委員を務めております。農業委員の活動を通じ、人吉市の農業が抱えている問題、特に、耕作放棄地の増加、担い手の高齢化、新規就農者の減少等について、その現状を知ることができました。農業は、「食」を生産する極めて重要な産業です。しかし、近年、米不足等による米価格の急激な上昇など、国民生活に影響が発生しています。そこで、地元の農業の問題解決に向け動きたいという思いと、人吉市の農業を将来に渡り更に持続可能なものとしたいという思いから、農業委員に応募しました。 2 また、私は、弁護士という法律専門家の立場にもあります。そこで、法律専門家としての法的知識・経験に加え、農業委員としての経験も活かし、その知識と経験を農業委員会のみならず、農業に携わる皆様の活動の支えの一助になるように、農業委員の職務に取り組みたいと思っています。
2	竹下 豊	72	農業	男	昭和47年3月 昭和47年4月 昭和52年3月 昭和52年10月 平成26年3月 平成26年4月～令和6年3月 令和5年7月～現在	熊本県立球磨農業高等学校 卒業 航空自衛隊 入隊 航空自衛隊 退職 人吉下球磨消防組合 入庁 人吉下球磨消防組合 定年退職 上林町一区町内会長 人吉市農業委員会 農業委員	経営面積 9,467㎡ 農業従事日数 200日/年間	非該当	無	高齢化、地域農業の担い手不足に対応するため、農地の集積・集約化、遊休農地の解消、新規就農者の促進等、農地利用の適正化を中心に地域農業の発展・行政との連携に努めていきたいと思う。
3	向岩 敏雄	75	農業	男	昭和44年3月 昭和44年4月 平成12年3月 平成12年4月 平成23年3月 平成23年3月 令和2年7月～令和5年7月 令和5年7月～現在	熊本県立八代東高等学校 卒業 吉井薬品株式会社 入社 吉井薬品株式会社 退職 株式会社PALTAC 入社 株式会社PALTAC 退職 就農 人吉市農業委員会 農地利用最適化推進委員 人吉市農業委員会 農業委員	経営面積 17,200㎡ 農業従事日数 250日/年間	該当	無	私は、農地利用最適化推進委員、農業委員の6年間の経験と地区の各種農業団体等の役員などの経験を生かし、厳しい農業情勢を認識して、地区の代表として取り組んでいきたいと思い応募します。
4	洲上 澄雄	71	学校技術員	男	昭和45年3月 昭和45年4月 昭和52年11月～昭和56年3月 昭和56年4月～昭和59年7月 昭和59年8月～平成3年11月 平成3年11月～平成10年11月 平成10年12月～平成16年8月 平成16年9月～平成23年3月 平成23年4月～現在 平成31年4月～現在 令和2年7月～令和5年7月 令和5年7月～現在	上村立上中学校 卒業 東京松和会 入社 料理 老松 株式会社荒竹水産 有限会社松田鱈屋 有限会社大和カラー 人吉森林組合 加藤畜産有限会社 人吉市教育委員会 学校技術員 木地屋町農家振興組合長 人吉市農業委員会 農地利用最適化推進委員 人吉市農業委員会 農業委員	経営面積 28,357㎡ 農業従事日数 250日/年間	該当	無	私たちの地域は、高齢化や担い手減少で、農地集積・集約化、鳥獣被害対策などに振興組合及び農業委員として活動してまいりました。今までの経験を生かして、地域の農業に取り組んでいきたいと考えています。

人吉市農業委員会の委員の推薦及び応募の状況(最終公表)

【推薦の状況】6名

被推薦者(推薦を受けた者)														推薦者(推薦をする者)			
番号	氏名	年齢	職業	性別	経歴		農業経営の状況	認定農業者等の認定	農地利用最適化推進委員への推薦及び応募状況(有無)	抱負	名称	代表者等の氏名	構成員数(人)	推薦理由			
					年月日	学歴・職歴など											
1	永田 正輝	73	農業	男	昭和46年3月 昭和46年4月 昭和49年12月 昭和50年4月 平成24年12月 平成26年7月～現在	熊本県立球磨農業高等学校 卒業 山陽バルブ株式会社 就職 山陽バルブ株式会社 退職 人吉市下球磨消防組合 就職 人吉市下球磨消防組合 退職 人吉市農業委員会 農業委員	経営面積 5,000㎡ 農業従事日数 250日/年間	非該当	無	私は農業情勢が厳しくなる中、耕作放棄地の解消活動や担い手への農地集積・集約化などとして、40年近い農業期間及び農業委員としての活動において培った知識を生かして取り組んでいきたいと思ひます。	瓦屋町農家振興組合	組合長 有田 健一	35	農業に対する事はもとより、何事においても緻密な考えのもと、旺盛な行動力に対応し、また農業に関する見識を有している事はもとより、誰しもが信頼のおけると認めるものであるという事から推薦するものである。			
2	上野 博司	74	農業	男	昭和45年3月 昭和45年5月 平成24年3月 平成26年6月～令和7年4月 平成26年7月～現在 令和2年4月～現在 令和2年8月～現在 令和5年7月～現在 令和7年5月～現在	熊本県立球磨農業高校 卒業 旧藍田農業協同組合 入組 JAくま 定年退職 人吉市農業振興地域整備促進等審議会 委員 人吉市農業委員会 農業委員 JAくま総代 JAくま下球磨統括支所 運営委員 人吉市農業委員会 会長 人吉市地域計画・農業振興地域整備促進等審議会 会長	経営面積 34,747㎡ 農業従事日数 300日/年間	該当	無	農業委員としての4期12年を振り返り感じている事は、地域内の農業後継者(担い手)が少なくなった事です。専業農家も世界情勢や資材高騰、高齢化により一人ひとりと経営面積を縮小し人口減少や、過疎化が進み担い手も無く高齢者が細々と農業を営み「限界集落」に向かっている状況です。地域計画が作成され、関係機関と目標地区の見直し等の話し合いが担い手を中心に行われましたが、参加者は少数で農業に対する危機感が感じられませんでした。その様な中で【どうにかしなければ!】という思いがあり、今一度、農業委員として地元や人吉をどうにかして活性化させたいと思ひます。なかなか後継者不足は拭えませんが、JA、県、市等行政の指導を今まで以上に仰ぎながら、農地中間管理機構を介しての利用権設定等を勧め、認定農家や集落内外の担い手の方に喜んで預かっていただく事を目指します。今後も地域の担い手として話し合いに参加し、遊休農地解消に努め担い手を育成し、次世代の農業者が地域再生と「学校との食農教育」を含め地域の学びの場になるように努力致します。	人吉市農家振興組合長 連絡協議会大畑支部	副支部長 茂田 健治	201	地域を盛り上げるため、JA理事、その他の役職に就かれ、その行動力、農業に関する知識と見識を有しており、信頼のおける人物であることから推薦する。			
3	山本 憲孝	60	農業	男	昭和58年3月 平成25年4月～現在	熊本県立球磨農業高等学校 卒業 ひとよし土地改良区 総代	経営面積 23,778㎡ 農業従事日数 330日/年間	該当	無	私は高校を卒業後、農業研修を経て農業に従事し早や40年が過ぎますが、私の周りには若い後継者(専業農業者)がいません。今農地を守っているのは60～70歳の方です。これでは農地も守れなくなると思ひます。上・下田代地区では田代溝により水利を確保しています。その水路さえ管理・点検・修理する人が不足していますし、共同作業をする時は兼業農家さんなど若い方々に作業をお願いしている状況です。今、私の地区では兼業農家の方が会社を退職し農業をしているのがほとんどです。ですので、これらの方々が無理なく農業ができるようお手伝いできたらと思ひます。	人吉市農家振興組合長 連絡協議会大畑支部	副支部長 茂田 健治	201	地域を盛り上げるため、農業に関する行動力があり、信頼のおける人物であることから推薦する。			
4	簀田 秀彦	72	農業	男	昭和47年3月 昭和49年3月 昭和49年4月 平成26年3月 平成26年9月～平成29年3月 平成29年7月～令和5年7月 令和5年7月～現在	熊本県立球磨農業高等学校 卒業 熊本県立農業講習所 卒業 人吉市農業協同組合 入組 球磨地域農業協同組合 定年退職 人吉市役所経済部農業振興課 農地中間管理事業推進員 人吉市農業委員会 農地利用最適化推進委員 人吉市農業委員会 農業委員	経営面積 9,200㎡ 農業従事日数 250日/年間	該当	無	地域においては、農業者の高齢化や後継者不足等により耕作放棄地や荒廃農地等が増加しております。今後、農地及び農業を守り、農村地域が疲弊しないようにしていくことが我々の務めであり、現在、各地域で取り組まれている「地域計画」の取り組みや活動について、また担い手への集積や集約化等について取り組んでいくことが重要な課題であると存じます。私は、それらのことに携わり、頑張りたいと存じます。	西間下町農家振興組合	組合長 岡本 義人	14	現在、農業委員として地域農業の山積する課題に対して、経験を生かしながら積極的に取り組んでいる。また、卓越した見識と何よりも農業に対する並々ならぬ熱意を持ち合わせている。今後、地域農業の振興及び農業委員会活動において貢献できる最適者として推薦する。			
											霧崎 春美	—	—				
5	有瀬 英憲	57	農業	男	昭和62年3月 平成5年3月 平成7年3月 平成7年9月 平成9年度 平成16年度 平成17年度 平成19年度 平成29年度 平成29年7月～現在 令和2年6月～現在	熊本県立人吉高等学校 卒業 東京農工大学農学部農学科 卒業 東京農工大学大学院農学研究科修士課程修了 就職 球磨地方青年農業者クラブ 会長 球磨地方青年農業士連絡協議会 会長 JAくま青壮年部 人吉支部長 熊本県農協青壮年部連絡協議会 委員 人吉市認定農業者連絡協議会 会長 人吉市農業委員会 農地利用最適化推進委員 JAくま 理事	経営面積 54,000㎡ 農業従事日数 300日/年間	該当	無	優良な農地を守り、次世代に引き継ぐ事と、農業を志す若い人が出てくるように頑張りたい。	人吉市農家振興組合長 連絡協議会西瀬支部	支部長 小野 芳廣	171	地域の農業を盛り上げる行動力、農業に関する知識・見識を有しており、信頼のおける人物であることから推薦するものである。			
6	山本 雄二	73	農業	男	昭和46年3月 昭和47年1月 平成24年3月 平成24年4月 平成25年4月～平成29年3月 平成29年7月～現在	熊本県立球磨農業高等学校 卒業 人吉市消防署 入署(昭和49年 人吉市下球磨消防組合に名称変更) 人吉市下球磨消防組合 退職 就職 矢黒町農家振興組合 組合長 人吉市農業委員会 農地利用最適化推進委員	経営面積 1,000㎡ 農業従事日数 250日/年間	該当	無	私は、農業情勢が厳しくなる中、耕作放棄地の解消活動や担い手への農地の集積・集約化などに、30年近い営農期間及び農地利用最適化推進委員としての活動において培った知識・見識を生かして取り組んでいきたいと考えています。	人吉市農家振興組合長 連絡協議会西瀬支部	支部長 小野 芳廣	171	地域の農業を盛り上げる行動力、農業に関する知識・見識を有しており、信頼のおける人物であることから推薦するものである。			